▼シユンレンカ皮下注 [注], ▼錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 レナカパビルナトリウム **Lenacapavir Sodium** 【分類】 抗ウイルス化学療法剤 (HIV カプシド阻害剤)

【単位】 ▼463.5mg/V, ▼300mg/錠

【常用量】

経口 : 1, 2 日目に 600mg, 8 日目に 300mg

注射 : 経口剤の投与開始後 15 日目に 927mg を皮下投与, 以降は 927mg を 6 ヶ月に 1 回皮下投与 (最終投与から 26 週間の前後 2 週間以内)

【用法】 食事にかかわらず投与可

【透析患者への投与方法】 Ccr 15 未満でのデータがない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 Ccr 30 未満で AUC 増大し, Ccr 15 未満でのデータがない (1) Ccr 30 未満で Cmax の上昇が大きく, AUC 増大は BA の増大が関与している可能性 (5)

【特徴】 多剤耐性 HIV-1 感染症治療薬

【主な副作用・毒性】 悪心, 注射部位反応

【安全性に関する情報】

【F】 6~10% [po], 100% [sc] (1)

【tmax】 4hr [po], 84 日 [sc] (1)

【代謝】 代謝の寄与は低い (Weber E, et al: Clin Pharmacokinet 2024 PMID: 382365621) CYP3A, P-gp, UGT1A1 の基質 (1) CYP3A の中程度の阻害薬 (1) OATP1B1 を阻害 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1%未満 [iv] (1) 未変化体として 33%が糞便中に排泄 (1)

【CL/F】 54.8L/hr (1)

【t1/2】 10 日 [po], 80.8 日 [sc] (1)

【蛋白結合率】 99.8% (1)

【Vd/F】 976L/body (1)

【MW】 990.26

【透析性】 透析されない (1)

【OW 係数】

【相互作用】 CYP3A, P-gp, UGT1A1 の誘導剤との併用や CYP3A 阻害作用による基質薬物の血中濃度上昇などに注意 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20241012

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。